

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年12月12日

【事業年度】 第15期(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

【会社名】 株式会社システム・テクノロジー・アイ

【英訳名】 System Technology-i Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松岡 秀紀

【本店の所在の場所】 東京都中央区築地一丁目13番14号

【電話番号】 03 5148 0400(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員管理本部長 内山 富士子

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地一丁目13番14号

【電話番号】 03 5148 0400(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員管理本部長 内山 富士子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月20日に提出いたしました第15期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第5 【経理の状況】

【注記事項】

（金融商品関係）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

（訂正前）

前連結会計年度（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）

（追加情報）

当連結会計年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号平成20年3月10日）を適用しております。

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、営業活動によって獲得した資金を以って事業運営を行うことを原則としております。一時的な余剰資金については、流動性かつ安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、個人顧客との取引については事前入金取引を原則としており、法人顧客との取引についても、ほとんどが2ヶ月以内の入金期日となっており、顧客の信用リスクは限定的であります。有価証券は、マネー・マネジメント・ファンドであり市場価格の変動リスクに晒されております。短期貸付金は、当社と同一の親会社をもつINCユナイテッド(株)への貸付金であり、信用リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金については、当社の与信管理規程に則り、相手先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。有価証券については、毎月取引先銀行から提示される資料により速やかに価格を把握しております。短期貸付金については、INCユナイテッド(株)から毎月財務諸表を入手して業績を把握し、取締役会で報告しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

| | 連結貸借対照表計上額 (千円) | 時価 (千円) | 差額 |
|------------|--------------------|------------|----|
| (1) 現金及び預金 | 534,476 | 534,476 | |
| (2) 売掛金 | 213,975 | 213,975 | |
| (3) 有価証券 | 10,113 | 10,113 | |
| (4) 短期貸付金 | 100,000 | 100,000 | |
| 資産計 | 858,564 | 858,564 | |

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、(4) 短期貸付金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券

これは、マネー・マネジメント・ファンドであり短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

2 満期のある金銭債務及び有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内 (千円) | 1年超5年以内 (千円) | 5年超10年以内 (千円) | 10年超 (千円) |
|--------|--------------|-----------------|------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 534,476 | | | |
| 売掛金 | 213,975 | | | |
| 有価証券 | 10,113 | | | |
| 短期貸付金 | 100,000 | | | |
| 合計 | 858,564 | | | |

当連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、営業活動によって獲得した資金を以って事業運営を行うことを原則としております。一時的な余剰資金については、流動性かつ安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、個人顧客との取引については事前入金取引を原則としております。また法人顧客との取引についても、ほとんどが2ヶ月以内の入金期日となっており、顧客の信用リスクは限定的であります。有価証券は、マネー・マネジメント・ファンドであり市場価格の変動リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、当社の親会社であるSEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)への貸付金であり、SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)グループ間の資金余剰と資金ニーズを平準化・円滑化することにより資金の有効活用を図るため行っているグループ資金運用制度契約によるものであります。当社にとっては、安全性と流動性を重視した際の有利な貸付先の一つと捉えております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金については、当社の与信管理規程に則り、相手先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。有価証券については、毎月取引先銀行から提示される資料により速やかに価格を把握しております。関係会社短期貸付金については、SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)グループ

内で毎月行われる定例会議で、グループ各社の業績を把握しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

| | 連結貸借対照表計上額 (千円) | 時価 (千円) | 差額 |
|---------------|--------------------|------------|----|
| (1) 現金及び預金 | 455,877 | 455,877 | |
| (2) 売掛金 | 120,426 | 120,426 | |
| (3) 有価証券 | 10,118 | 10,118 | |
| (4) 関係会社短期貸付金 | 150,000 | 150,000 | |
| 資産計 | 736,423 | 736,423 | |

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金及び預金、(2)売掛金、(4)関係会社短期貸付金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券

これは、マネー・マネジメント・ファンドであり短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

2 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内 (千円) | 1年超5年以内 (千円) | 5年超10年以内 (千円) | 10年超 (千円) |
|-----------|--------------|-----------------|------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 455,498 | | | |
| 売掛金 | 120,426 | | | |
| 有価証券 | 10,118 | | | |
| 関係会社短期貸付金 | 150,000 | | | |
| 合計 | 736,043 | | | |

(訂正後)

前連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

(追加情報)

当連結会計年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号平成20年3月10日)を適用しております。

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、営業活動によって獲得した資金を以って事業運営を行うことを原則としております。一時的な余剰資金については、流動性かつ安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、個人顧客との取引については事前入金取引を原則としており、法人顧客との取引についても、ほとんどが2ヶ月以内の入金期日となっており、顧客の信用リスクは限定的であります。有価証券は、マネー・マネジメント・ファンドであり市場価格の変動リスクに晒されております。短期貸付金は、当社と同一の親会社をもつINCユナイテッド(株)への貸付金であり、信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金及び未払金は、支払サイトが1ヶ月～2か月程度の短期決済債務であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金については、当社の与信管理規程に則り、相手先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。有価証券については、毎月取引先銀行から提示される資料により速やかに価格を把握しております。短期貸付金については、INCユナイテッド(株)から毎月財務諸表を入手して業績を把握し、取締役会で報告しております。

買掛金及び未払金は、予算と実績の進捗に基づき、予算担当部署及び管理本部で取引先への発注をコントロールしており、流動性リスクは限定的であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日(当期の連結決算日)における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

| | 連結貸借対照表計上額 (千円) | 時価 (千円) | 差額 |
|------------|--------------------|------------|----|
| (1) 現金及び預金 | 534,476 | 534,476 | |
| (2) 売掛金 | 213,975 | 213,975 | |
| (3) 有価証券 | 10,113 | 10,113 | |
| (4) 短期貸付金 | 100,000 | 100,000 | |
| 資産計 | 858,564 | 858,564 | |
| (5) 買掛金 | 69,331 | 69,331 | — |
| (6) 未払金 | 26,526 | 26,526 | — |
| 負債計 | 95,858 | 95,858 | — |

(注1) 金融商品の時価の算定方法及びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項
資産

(1)現金及び預金、(2)売掛金、(4)短期貸付金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券

これは、マネー・マネジメント・ファンドであり短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

負債

(5)買掛金、(6)未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内 (千円) | 1年超5年以内 (千円) | 5年超10年以内 (千円) | 10年超 (千円) |
|--------|--------------|-----------------|------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 534,476 | | | |
| 売掛金 | 213,975 | | | |
| 有価証券 | 10,113 | | | |
| 短期貸付金 | 100,000 | | | |
| 合計 | 858,564 | | | |

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、営業活動によって獲得した資金を以って事業運営を行うことを原則としております。一時的な余剰資金については、流動性かつ安全性の高い金融資産で運用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、個人顧客との取引については事前入金取引を原則としております。また法人顧客との取引についても、ほとんどが2ヶ月以内の入金期日となっており、顧客の信用リスクは限定的であります。有価証券は、マネー・マネジメント・ファンドであり市場価格の変動リスクに晒されております。関係会社短期貸付金は、当社の親会社であるSEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)への貸付金であり、SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)グループ間の資金余剰と資金ニーズを平準化・円滑化することにより資金の有効活用を図るため行っているグループ資金運用制度契約によるものであります。当社にとっては、安全性と流動性を重視した際の有利な貸付先の一つと捉えております。

営業債務である買掛金及び未払金は、支払サイトが1ヶ月～2か月程度の短期決済債務であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金については、当社の与信管理規程に則り、相手先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。有価証券については、毎月取引先銀行から提示される資料により速やかに価格を把握しております。関係会社短期貸付金については、SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ(株)グループ内で毎月行われる定例会議で、グループ各社の業績を把握しております。

買掛金及び未払金は、予算と実績の進捗に基づき、予算担当部署及び管理本部で取引先への発注をコントロールしており、流動性リスクは限定的であります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日(当期の連結決算日)における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額につ

いては、次のとおりであります。

| | 連結貸借対照表計上額 (千円) | 時価 (千円) | 差額 |
|---------------|--------------------|------------|----|
| (1) 現金及び預金 | 455,877 | 455,877 | |
| (2) 売掛金 | 120,426 | 120,426 | |
| (3) 有価証券 | 10,118 | 10,118 | |
| (4) 関係会社短期貸付金 | 150,000 | 150,000 | |
| 資産計 | 736,423 | 736,423 | |
| (5) 買掛金 | 27,232 | 27,232 | — |
| (6) 未払金 | 20,998 | 20,998 | — |
| 負債計 | 48,231 | 48,231 | — |

(注) 1 金融商品の時価の算定方法及びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)売掛金、(4)短期貸付金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券

これは、マネー・マネジメント・ファンドであり短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

負債

(5)買掛金、(6)未払金

これらは、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

| | 1年以内 (千円) | 1年超5年以内 (千円) | 5年超10年以内 (千円) | 10年超 (千円) |
|-----------|--------------|-----------------|------------------|--------------|
| 現金及び預金 | 455,498 | | | |
| 売掛金 | 120,426 | | | |
| 有価証券 | 10,118 | | | |
| 関係会社短期貸付金 | 150,000 | | | |
| 合計 | 736,043 | | | |